

小名浜会場での狩野代表の挨拶



4月30日、小名浜メーデーが潮目会館で開催され、270人の仲間が結集しました。上壁いわき総支部代表とともに、社民党福島県連合代表として挨拶させていただきました。

「第94回福島県中央メーデーおめでとうございます。

この間、コロナ禍、円安、ロシアのウクライナ侵攻により物価が高騰し、私たちの生活は厳しくなっています。このような状況のなかで、大幅賃上げを勝ち取っていることは喜ばしいことです。この流れを民間企業の労働者にも波及させる取組をしていることに敬意を表します。

私たちのところに、多くの労働者等が相談にきています。

「職場の管理者から人格を否定する言動によりうつ病となり休職しているが、労災認定にならないかとの相談があり、労働基準監督署と相談をしています。また、非正規労働者の方がコロナ化で退職せざるをえなく生活に困窮しているとの相談があり、その方たちには、食料支援とともに社協での就労斡旋の紹介などを行ってきました。社会の底上げには、最低賃金早期 1,500 円の実現が必要です。誰もが安心して生活できる社会と人権を大切にする社会の実現にむけ闘います。

また、汚染水海洋放出反対、原発推進のGX法案反対、敵基地攻撃の保有と53兆円の防衛費での大衆増税に反対。なによりも暮らしと平和が一番を訴えます。共に力をあわせ闘っていくことをお誓いし、連帯の挨拶とします。」

狩野 光昭